

アンケート調査の概要

平成29年(2017年)8月22日

医療計画検討のための入力情報として、5種類のアンケート調査を実施します。

アンケート調査内容

回収率は各50%程度を想定

No	区分	対象者	設問数	設問概要	配布枚数・方法
1	市民	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 20歳以上の市民 	約60	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 救急医療に関する意向と受療動向 ✓ 入院/外来に関する意向と受療動向 ✓ 終末期医療に関する意向 ✓ 介護・在宅医療に関する意向・要望 ✓ 市の医療計画への期待・要望 	<p>約3,800枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 日常生活圏域・年齢区分ごとに配布枚数を設定
2	市内の医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 市内病院 ✓ 市内診療所 	約60	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 病院・診療所の経営環境 ✓ 患者数 ✓ 医療スタッフ数と就職・離職動向 ✓ 関連分野との連携状況 ✓ 救急医療に関する意向 ✓ 在宅医療に関する意向 ✓ 医療の地域完結に関する意向 ✓ 市の医療計画への期待・要望 	<p>【検討中】</p> <p>(案1) 31枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 対象施設全てに配布 <p>(案2) 19枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 他施設に附属の診療所を除き、対象施設に配布
3	医療従事者	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医師 ✓ 歯科医師 ✓ 薬剤師 ✓ 看護師 ✓ 准看護師 ✓ 理学療法士 ✓ 作業療法士 ✓ 言語聴覚士 	約35	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 現在の労働環境と改善要望 ✓ 勤務先・勤務形態に関する意向 ✓ 地域医療の課題認識 ✓ 関連分野との連携状況 ✓ 在宅医療に関する意向 ✓ 市の医療計画への期待・要望 ✓ 地域医療への思い 	<p>約700枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市内医療・福祉施設勤務の対象者全てに配布 ➢ 施設単位で配布・回収
4	関連専門職	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 管理栄養士 ✓ 精神保健福祉士 ✓ 医療ソーシャルワーカー ✓ ケアマネジャー ✓ 介護職 	約15	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療従事者との連携状況 	<p>約700枚</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市内医療・福祉施設勤務の対象者全てに配布 ➢ 施設単位で配布・回収
5	市内の学生*1	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 吉備国際大学看護学科、理学療法学科、作業療法学科の学生 ✓ 順正高等看護福祉専門学校看護学科の学生 	約10	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 就職に関する意向 ✓ 奨学金の普及状況 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 対象者全員に配布

*1: 8~9月が夏休み期間のため別日程にて実施。10月末の調査報告書(案)からは対象外とする。

場合に応じて、高梁出身の医学部生と他自治体医療機関にヒアリングを実施します。

ヒアリング調査内容

No	区分	対象者	設問数	設問概要	抽出方法	調査手法	備考
1	高梁出身の医学部生	✓ 高梁出身で現在大学の医学部医学科に在学中、あるいは研修中の方	約10	✓ 就職に関する意向 ✓ 奨学金の普及状況	✓ アプローチ可能な対象者全て	✓ 対面または電話によるヒアリング	✓ 適格者がいた場合に実施を検討
2	他自治体医療機関	✓ 高梁市からの流出患者数の多い医療機関	約10	✓ 高梁市からの流出患者の状況 ✓ 高梁市への転院に関する意向	✓ KDBデータから対象医療機関を選出	✓ 対面または電話によるヒアリング	✓ 特異的に流出患者が多い医療機関があった場合に実施を検討

市民アンケートについては、圏域ごとの人口分布をベースとし、統計的な信頼レベルの担保と調査実務の負荷のバランスを考慮して、配布枚数を設定しています。

日常生活圏域別・年齢区分別人口(2010年国勢調査)^{※1}

(人)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	合計
高梁	2,299	1,549	1,544	1,997	2,057	1,754	1,692	12,892
高梁東	160	167	220	373	400	370	324	2,014
高梁北	240	276	288	588	631	673	608	3,304
有漢	155	220	200	360	350	415	387	2,087
成羽	310	440	475	670	725	790	783	4,193
川上	195	215	250	455	525	595	595	2,830
備中	95	140	190	300	335	510	497	2,067

^{※1}:人口ビジョン掲出グラフから読み取った概算の人数

配布枚数(信頼レベル95%、誤差範囲15%、回収率50%)

(枚)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~	合計
高梁	84	84	84	84	84	84	84	588
高梁東	68	70	72	78	78	78	76	520
高梁北	74	76	76	80	82	82	80	550
有漢	68	72	72	78	78	78	78	524
成羽	76	78	80	82	82	82	82	562
川上	72	72	74	80	80	80	80	538
備中	60	66	72	76	76	80	80	510

合計約3,800枚

【参考】
第6期介護保険事業計画
におけるアンケート配布枚
数は約2,700枚

【補足】日常生活圏域×年代の各クラスター別に集計する場合の誤差範囲は15%だが、日常生活圏域別、年代別のいずれかで集計する場合の誤差範囲は約6%となる。

市民アンケートにおける誤差範囲

■ 回収数(想定)

(枚)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代~
高梁	42	42	42	42	42	42	42
高梁東	34	35	36	39	39	39	38
高梁北	37	38	38	40	41	41	40
有漢	34	36	誤差範囲15%		39	39	39
成羽	38	39	40	41	41	41	41
川上	36	36	37	40	40	40	40
備中	30	33	36	38	38	40	40

■ 地域別集計

年代計	誤差範囲
294	5.7%
260	5.7%
275	5.7%
262	5.7%
281	5.6%
269	5.7%
255	5.7%

■ 年代別集計

圏域計	251	259	265	279	280	282	280
誤差範囲	6.0%	5.8%	5.8%	5.7%	5.7%	5.7%	5.7%

【参考】稲城市医療計画の「医療に関する市民意識調査」における誤差範囲

- ✓ 地域×年代の各クラスター別 : 6.5%~54.8%
- ✓ 地域別集計時の地域別 : 4.6%~11.0%
- ✓ 年代別集計時の年代別 : 2.9%~7.0%

回答結果を集計するに当たっては、人口分布を考慮した補正を加え、回答の傾向に地域の偏りが生じないように統計的処理を行います。

市民アンケートにおける人口比補正の考え方

前提	✓ 統計的な信頼レベルと現実的な配布可能枚数を考慮すると、 <u>各圏域にほぼ同数の配布</u> となる。
課題	✓ 回答率に依存するが、回答者構成が各圏域・各年齢でほぼ同数となることが想定される。 ✓ このため、アンケート結果を <u>単純に集計</u> すると、 <u>人口の少ない圏域・年齢の意見が過剰に強く反映</u> されてしまう。
対応	✓ <u>集計・分析の際に、人口比で重み付け</u> を加え、 <u>高梁市の人口構成を適切に反映した結果</u> となるよう補正する。

補正作業のイメージ

<補正前の回答比率>

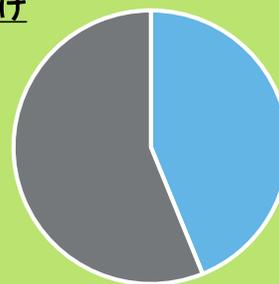


□はい □いいえ

	はい	いいえ
高梁	100人	0人
高梁東	0人	100人
高梁北	0人	100人
有漢	0人	100人
成羽	0人	100人
川上	0人	100人
備中	0人	100人

回答者数
合計700人

実際の人口比
で重み付け



□はい □いいえ

<補正後の回答比率>

	はい	いいえ
高梁	307人	0人
高梁東	0人	48人
高梁北	0人	79人
有漢	0人	50人
成羽	0人	100人
川上	0人	67人
備中	0人	49人

回答者数
合計700人